

予算特別委員会記録

1. 日時 令和6年12月5日(木)
午後 1時40分 開会
午後 2時08分 閉会
2. 場所 白鷹町役場 議場
3. 議題 (1) 議第81号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算(第5号)について
(2) 議第82号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
(3) 議第83号 令和6年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
(4) 議第84号 令和6年度白鷹町水道事業会計補正予算(第2号)について
(5) 議第85号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算(第2号)について

○出席委員(11名)

2番	衣袋正人	委員	3番	横山和浩	委員
4番	竹田雅彦	委員	5番	佐々木誠司	委員
6番	丸川雅春	委員	7番	金田悟	委員
8番	笹原俊一	委員	9番	山田仁	委員
10番	関千鶴子	委員	11番	今野正明	委員
12番	遠藤幸一	委員			

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	佐藤誠七
副町長 町民課長事務取扱	田宮修
教育長	衣袋慶三
総務課長	長岡聡

税務出納課長	高	橋	浩	之
企画政策課長	加	藤	和	芳
町民課長補佐	鈴	木	秀	一
健康福祉課長	永	沢	照	美
商工観光課長	黒	澤	和	幸
農政課長併 農業委員会事務局長	橋	本	秀	和
林政課参与 (兼)課長	永	野		徹
建設課長	菊	地		智
上下水道課長	鈴	木	克	仁
病院事務局長	片	山	正	弘
教育次長	橋	本	達	也
監査委員	小	谷	部	仁
総務課長補佐兼 財政係長	鈴	木	秀	昭
総務課長補佐兼 総務係長	梅	津	友	宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小	林		裕
補佐	大	瀧	勇	祐
書記	竹	田	雅	紀子

開 会

〈午後1時40分〉

○開会の宣告

○委員長（山田 仁） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第5回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第5号）外4件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に、令和6年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

なお、質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。

また、質問される方はページを示してください。

○議第81号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） それでは、議第81号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第5号）についてを議題とします。

初めに、補正予算説明書の概要についての説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和6年度補正予算説明書の概要をご覧ください。2ページでございます。

初めに、一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、本年9月の豪雨災害により被災した施設の対応をはじめ、保育園運営委託料等の福祉関連施策や道路橋梁関連施策のほか、学校給食費支援補助追加など緊急性の高い事業について対応したものでございます。

そのほか次年度に向けました債務負担行為の設定を行ったものでございます。

歳入でございます。

款、補正額、主な内容について申し上げます。

14款国庫支出金1,385万2,000円、子どものための教育・保育給付費負担金1,248万8,000円、デジタル田園都市国家構想交付金46万8,000円、障害者自立支援給付審査支払等システム事業補助金52万2,000円などでございます。

15款県支出金1,162万5,000円、福祉医療給付事業356万円、子どものための教育・保育給付費負担金475万8,000円、灯油購入費助成事業費補助金195万円などでございます。

17款寄附金30万円、企業版ふるさと応援寄附金10万円、教育総務費寄附金20万円。

18款繰入金1,300万円の減額、公共施設整備基金繰入金の減額でございます。

19款繰越金2,074万5,000円。

20款諸収入333万8,000円、後期高齢者医療広域連合医療給付費負担金返納金などがございます。

21款町債2,140万円、上水道事業出資債90万円、過疎対策事業債500万円、地方道路等整備事業債500万円、緊急自然災害防止事業対策事業債100万円、災害復旧事業債950万円。

歳入合計5,790万円。

続きまして、歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費15万4,000円、人件費の調整でございます。

款別の概要の主なものを申し上げます。

総務費752万7,000円、共通事務費35万円及び財産管理費327万3,000円につきましては、執行状況や事業実績見込み等に基づく追加計上でございます。情報処理費50万円、情報網専用線工事の追加計上でございます。

2款の最下段、コンビニ交付システム導入事業93万5,000円、氏名振り仮名法制化への対応、このような事業でございます。

3款民生費1,689万2,000円、2番目の丸でございますが、冬の生活応援事業390万円、灯油等購入費助成の追加計上でございます。障害者自立支援給付事業104万5,000円、システム改修への対応でございます。

次ページ、3款の事業の下から2番目の丸、児童ふれあい交流促進事業1,525万円の減額、住民利用ニーズを踏まえた施設利用方針の変更に伴う対応でございます。

続きまして、衛生費153万7,000円、環境衛生費63万7,000円、執行状況や事業実績見込み等に基づく追加計上でございます。水道整備費90万円、管路耐震化事業に対する出資金追加への対応でございます。

農林水産業費301万円、林道沼平線道路改良事業300万円、令和6年9月大雨の影響を受け、必要となる追加工事への対応などがございます。

7款商工費83万7,000円、観光費46万9,000円、施設修繕を行うための対応でございます。伝統工芸の村管理事業36万8,000円、いきいき深山郷のどか村の空調更新への対応でございます。

8款土木費768万4,000円、道路新設改良事業費735万4,000円、道路改良県事業負担金の追加計上でございます。公園事業費33万円、各公園の環境整備への追加対応でございます。

9款消防費88万円、消防施設費40万7,000円、施設補修を行うための対応でございます。災害対策費44万4,000円、防災用品購入のための追加計上でございます。このよう

な事業などでございます。

10款教育費900万9,000円、事務局費403万円、学校給食費の高騰対策支援等への追加対応でございます。この欄の下から2番目、町スポーツ協会運営強化支援事業70万円、同協会運営強化支援への追加対応でございます。このような事業などでございます。

6ページをご覧ください。

11款災害復旧費1,052万4,000円、急傾斜地崩壊対策事業費160万円、急傾斜地崩壊対策県事業負担金への対応でございます。観光施設豪雨災害復旧費850万円、令和6年9月豪雨災害への対応でございます。以上のような事業でございます。

歳出合計5,790万円。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。歳入歳出一括して質疑を行います。

3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 1点、お伺いをいたします。概要ではなくて予算書の14ページをお開きください。10款教育費2項小学校費にございます教育振興費として20万円、学校図書整備とございます。こちらについて概要とその取組の内容についてお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本達也） ご説明申し上げます。

こちらにつきましては公益社団法人長井法人会様から寄附金として20万円のご寄附を頂いたものでございまして、優良図書の整備に役立ててもらいたいということでの寄附を頂いたところでございます。

こちらの活用方法につきまして、小学校の学校図書として活用させていただくということで、このたび、小学校費に学校図書整備費として20万円、4校あるわけでございますので小学校各校に5万円ずつの図書購入ということで予定しているものでございます。以上になります。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。各校に5万円ずつということで分かりました。

関連でお伺いいたしますけれども、学校図書館図書標準、それぞれの学校に何冊の本があるのかということで基準があつてそれをクリアしているかどうか、この件について令和3年3月の予算委員会で中学校はまだちょっとクリアしていないんだという答弁があったかなと思います。その後、どうなったかお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本達也） お答えいたします。

今、委員からありましたとおり、文部科学省から学校で整備すべき蔵書の標準としまして学校図書館図書標準というものが示されている状況でございます。

こちらにつきましては学級数に応じた冊数等々ということで示されているものでござ

いますけれども、現在の各小中学校の状況でございますが、標準冊数は満たしているという状況で確認しておるところでございます。引き続き学校図書の予算措置などしながら、適切な蔵書の整備を図っていきたいと考えております。以上であります。

○委員長（山田 仁） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 予算書10ページです。民生費の中で特別保育事業費ということでふるさと子ども交流館解体工事設計業務、そして、その下の解体工事の分といたしまして合わせて1,525万円の減額となっておりますが、これは当初計画されていた金額そのままそっくり減額になっておるわけでありまして、当初計画では施設の解体をするということで予算化されたと記憶しております。その後、利活用されるというようなことで減額をされたとお伺いしておりますけれども、どのような形での利活用というのを図っていかれるのか、ご説明をお願いいたします。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えさせていただきます。

ふるさと子ども交流館の解体費用等につきましては、3月に条例廃止をいたしまして普通財産に戻したと。その中で、所管課で解体費用につきましては持っていたというような経過がございますけれども、ただいま委員からお話がありましたように、今年度になりましてこの施設を活用したいということで申入れがありまして、活動団体と様々、調整をさせていただいたところがございます。

その中でこの活用を申し込まれた団体の狙いというようなところでは、集団になじめないようなお子さんなどを対象にしまして、社会環境への参加などの目的として様々な体験学習や自発的活動の環境づくりのための事業をされるということをお伺いいたしましたので、私どもとしては大変公益性の高い事業だと判断をさせていただいて、このふるさと子ども交流館につきましては、現状の状態のままでよければ無償でお貸しできますというお話をさせていただきまして、いろいろ調整させていただいて本年の10月からでありますけれども、この施設については活用をいただいているような状況でございます。

○委員長（山田 仁） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

施設、建物はそのまま残した形で活用していただくということでございますが、たしか保育園時代からその建物内部にありました備品であったりとか、大分活用できるのか、できないようなものもあるということをお聞きしておりますけれども、その備品についての取扱いというか、処分されるのか、その辺の対応についてどのような形で、財産管理費でも何らかの形で予算化されておられるかと思っておりますけれども、その辺についてのご説明をお願いいたします。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答え申し上げます。

この借用団体と調整をさせていただきまして、中にある備品等についても使えるものは全て使っていただいて結構ですというお話をさせていただきました。

その中で、不用な備品等については私どもで処分をさせていただくということで、団体様から整理をしていただいて不用だということが出てきたものについては、私どもで処分させていただく予定で進めております。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 1点だけ確認をさせてください。

概要書の3ページ、2款総務費の最後のコンビニ交付のシステム導入事業でございます。今回は、いわゆる法制化によって名前に振り仮名を振るシステムの改修ということでございますが、このコンビニ交付のシステムの事業に関しまして関連でお尋ねをいたしますけれども、先月、11月22日からマイナンバーカードによるコンビニ交付のシステムが導入になったということでございます。およそ2週間ほどたったわけでございますが、それまでの実績等があれば教えていただきたいと思います。

○委員長（山田 仁） 鈴木町民課長補佐。

○町民課長補佐（鈴木秀一） お答えいたします。

コンビニ交付につきましては、先月11月22日から開始させていただいているところでございます。昨日までで13日間実施しておりまして、その実績についてご報告いたします。件数は全部で23件ございました。住民票で13件、印鑑証明書で10件の実績でございました。以上、ご報告いたします。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） このコンビニ交付に関しましては、いわゆる役場の開庁時間ではない時間、朝の6時半から夜の11時までということでも活用していただける制度でございますが、時間帯でございますが、いわゆるこの開庁時間以外での活用があったのかどうか教えていただきたいと思います。

○委員長（山田 仁） 鈴木町民課長補佐。

○町民課長補佐（鈴木秀一） お答えいたします。

13日間の実施のうち、土曜日及び日曜日が含まれておったのが4日間ございました。23件のうち、この土曜日、日曜日の分が10件ございます。

さらに、通常の8時半から夕方5時15分までの通常の執務時間外の交付につきましては5件ございまして、合わせて15件がいわゆる時間外という扱いでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） たった2週間ですのでまだこれから先の話でございますけれども、この実績等も踏まえて町として、例えば見込みとして多かったのか少なかったのかとか、

それから今後の見込み等も含めてその評価がもしあるのであれば教えていただきたいと思ひます。

○委員長（山田 仁） 鈴木町民課長補佐。

○町民課長補佐（鈴木秀一） お答えいたします。

13日間で23件ということですので、1日当たりにすれば1.77件になります。まだ13日間の施行ということではこれが多いのか少ないのか、ちょっとまだ判断するには時期が早いと思ひております。

ただ、実際に時間外や土曜日、日曜日に利用される方がたくさんいらっしゃるということは、住民の方の利便性につながっているものと考えているところでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 債務負担行為補正等で何かございせんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑終結と認めます。

次に移ります。

○議第82号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 議第82号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。田宮副町長。

○副町長町民課長事務取扱（田宮 修） ご説明申し上げます。

概要の7ページをご覧くださいと思ひます。

国民健康保険特別会計につきましては、歳入歳出それぞれ2,353万9,000円の追加補正を行うものでございます。

概要等につきましては、保険給付費等交付金償還金の調整等を行うものでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第83号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に、議第83号 令和6年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。田宮副町長。

○副町長町民課長事務取扱（田宮 修） ご説明申し上げます。

後期高齢者医療特別会計につきましては、歳入歳出それぞれ489万4,000円を減額する
ものでございます。

概要等につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の調整等を行うものでござい
ます。以上です。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第84号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に、議第84号 令和6年度白鷹町水道事業会計補正予算（第2
号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。鈴木上下水道課長。

○上下水道課長（鈴木克仁） ご説明申し上げます。

概要の7ページをご覧ください。水道事業会計でございます。

補正額概要についてご説明申し上げます。

初めに、収益的支出190万円、こちらにつきましては修繕費の調整でございます。

資本的収入470万円、こちらにつきましては配水管の布設替えによる管路の耐震化事
業、こちらを行ってございますが、それら財源の調整でございます。

資本的支出につきましては477万9,000円、内容といたしましては、管路の耐震化事業
等の建設改良費の調整ということで、現場の状況に応じた追加工事への対応というこ
とでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的支出、資本的収支、一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第85号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 続いて、議第85号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算
（第2号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。鈴木上下水道課長。

○上下水道課長（鈴木克仁） ご説明申し上げます。概要の7ページでございます。

下水道事業会計、補正額、収益的支出65万円、内容といたしましては、動力費、薬品
費の支出見通しに基づきます追加計上でございます。

説明は以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的支出について質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第81号の採決

○委員長（山田 仁） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第81号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第5号）について採決いたします。

議第81号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第82号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第82号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第82号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第83号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第83号 令和6年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第83号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第84号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第84号 令和6年度白鷹町水道事業会計補正予算（第2

号) について採決いたします。

議第84号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長(山田 仁) 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第85号の採決

○委員長(山田 仁) 次に、議第85号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算(第2号) について採決いたします。

議第85号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長(山田 仁) 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長(山田 仁) 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算5件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○委員長(山田 仁) ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長(山田 仁) これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後2時08分〉